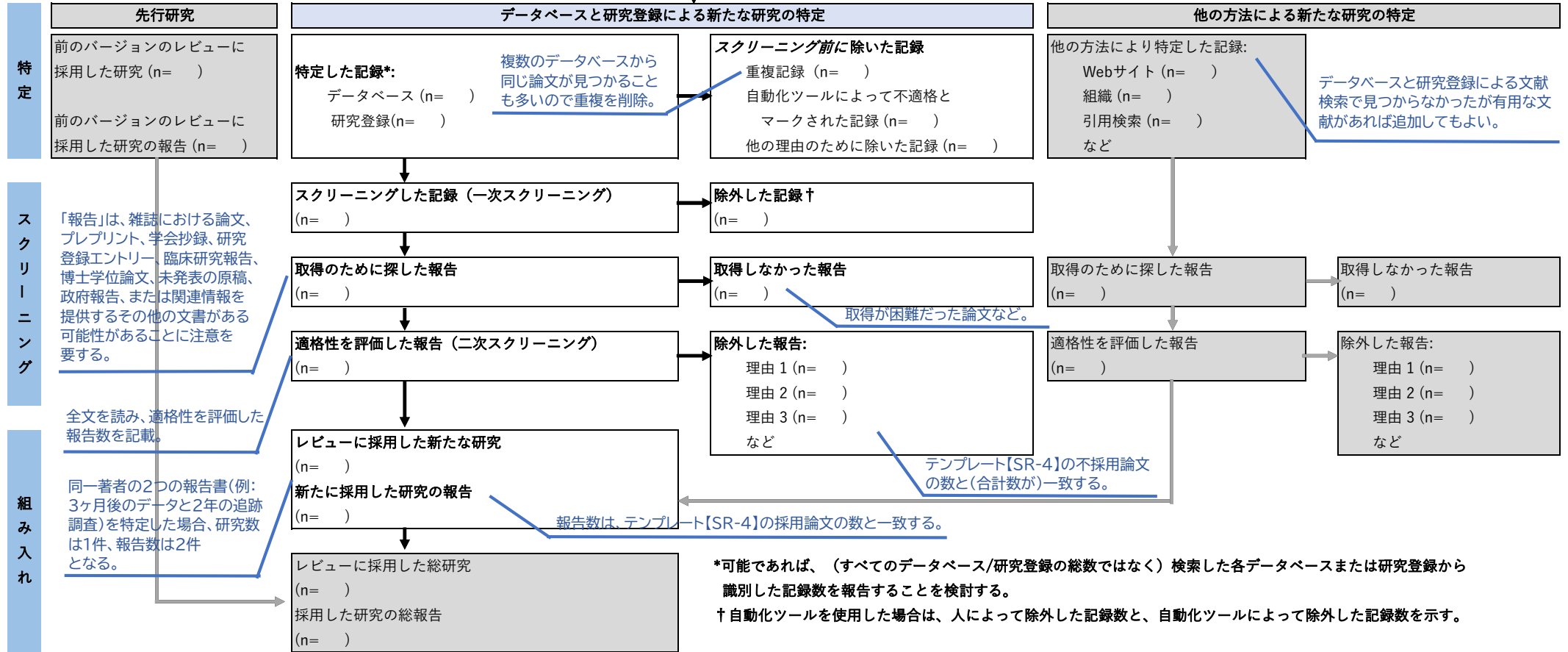


【SR-2 文献検索フローチャート 記入方法】 (PRISMA 2020声明を改変)

本文献検索フローチャートは、CQの数だけ作成し、診療ガイドライン内または巻末等に資料として掲載する。

PubMed	CENTRAL	医中誌	Embase	PsycINFO®	CINAHL	Others()

CQごとに使用した文献データベース別に、検索した文献数を記載。使用しなかったものはNAとする。



灰色のボックスは、該当する場合にのみ記入する必要がある。それ以外の場合は、フローチャート図から削除する必要がある。

【用語解説】

報告 (Report) : ある特定の研究についての情報を提供する文書 (紙媒体または電子的)。それは、雑誌掲載論文、プレプリント、学会抄録、研究登録エントリー、臨床研究報告書、博士論文、未発表の原稿、政府報告書、または関連情報を提供するその他の文書である。

記録 (Record) : データベースまたは Web サイトで索引付けされた報告のタイトルまたは抄録 (またはその両方) (例: MEDLINE で索引付けされた論文のタイトルまたは抄録)。同じ報告 (同じ雑誌掲載論文) を引用する記録は「重複」である。しかし、単に類似している報告 (例: 2つの異なる学会に提出された類似の抄録) を引用する記録は、それぞれ特有のものと思わず必要がある。

研究 (Study) : 定義された参加者グループと1つ以上の介入およびアウトカムを含む、臨床試験のような調査。「研究」には複数の報告が含まれる場合がある。たとえば、報告には、プロトコル、統計学的分析計画、ベースライン特性、主要アウトカムの結果、害の結果、副次アウトカムの結果、および追加の媒介解析や調整解析 (mediator and moderator analyses) の結果を含む。

出典: 上岡洋晴, 金子善博, 津谷喜一郎, 中山健夫, 折笠秀樹. 「PRISMA 2020声明: システマティック・レビュー報告のための更新版ガイドライン」の解説と日本語訳. 薬理と治療 2021;49:831-42

※ 本様式および付記した注釈は、PRISMA 2020声明を参考に、一部改変して作成しています。PRISMAガイドラインの実施方法、記載形式を制限もしくは規定するものではありません。実際の診療ガイドライン作成にあたっては、対象、目的、手法に応じて適切に調整してください。